

平成30年の大阪の賃金、労働時間及び雇用の動き

大阪府総務部統計課 勤労・教育グループ

《 詳細は大阪府ホームページに掲載しています。 http://www.pref.osaka.lg.jp/toukei/maikin_n/index.html 》

平成31年4月に、平成30年の「大阪の賃金、労働時間及び雇用の動き」（速報）を公表しましたので、その概要を紹介します。

1 主な動き（平成30年平均、調査産業計・事業所規模5人以上）

(1) 賃金の動き

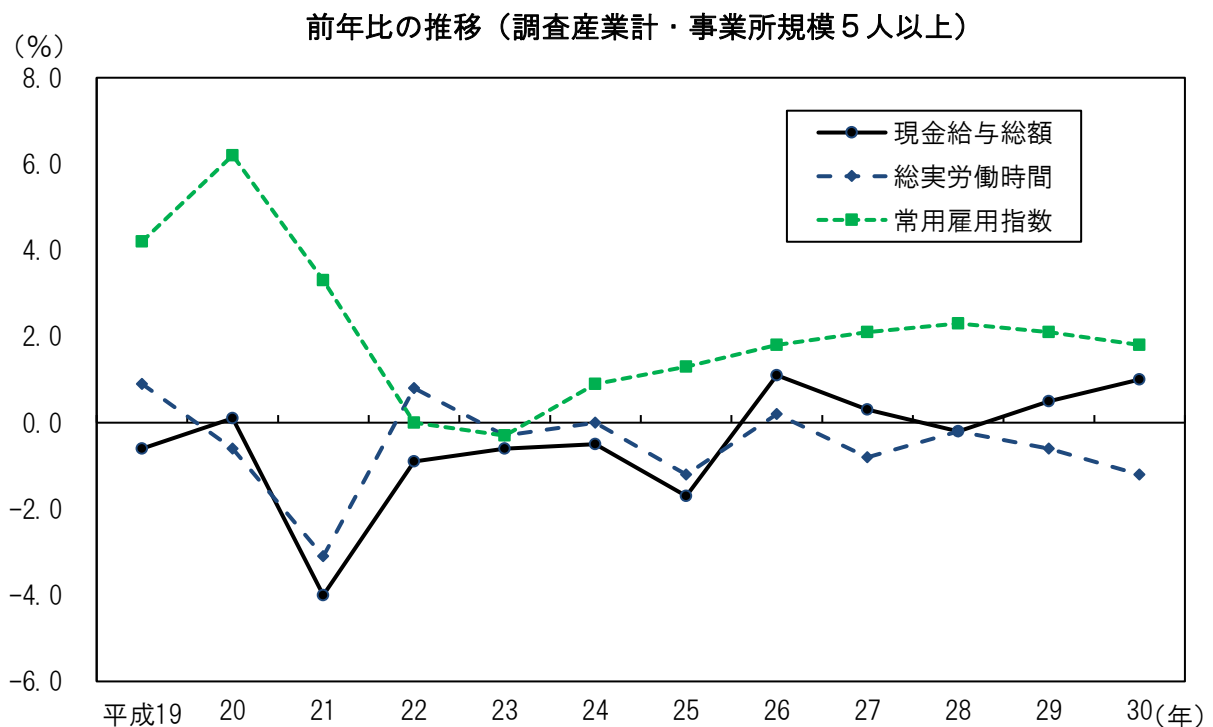
現金給与総額は、339,081円。名目賃金指数（平成27年平均＝100。以下同様。）は101.2で、前年比は1.0%の増加となり、平成29年以降、2年連続で増加が続いています。

(2) 労働時間の動き

総実労働時間は、139.3時間。労働時間指数は98.0で、前年比は1.2%の減少となり、平成27年以降、4年連続で減少が続いています。

(3) 雇用の動き

常用労働者数は、3,889,289人。常用雇用指数は106.2で、前年比は1.8%の増加となり、平成24年以降、7年連続で増加が続いています。

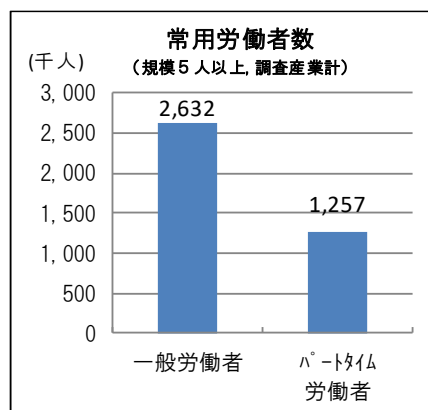
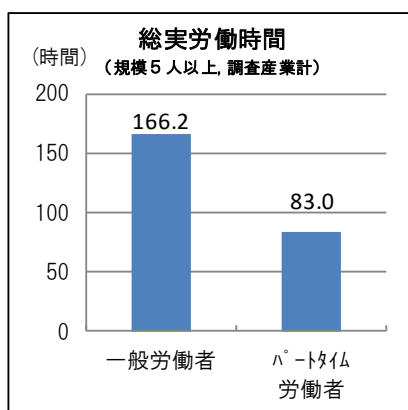
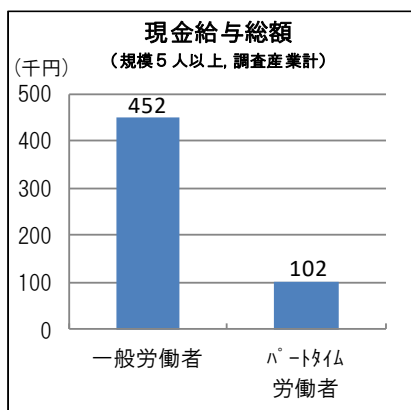


2 就業形態別賃金、労働時間及び雇用（平成30年平均、調査産業計・事業所規模5人以上）

賃金、労働時間及び雇用を就業形態別（一般労働者とパートタイム労働者）にみると、現金給与総額は、一般労働者が452,411円、パートタイム労働者が101,826円となった。

一方、総実労働時間は、一般労働者が166.2時間、パートタイム労働者が83.0時間となった。

また、常用労働者数は、一般労働者が2,632千人、パートタイム労働者が1,257千人となった。



3 パートタイム労働者比率の動き（平成30年平均、事業所規模5人以上）

常用労働者に占めるパートタイム労働者の割合は調査産業計で32.3%となり、平成22年以降、9年連続の増加となった。また、6年連続で年平均30%を超え、産業別では「宿泊業、飲食サービス業」が最も高く、81.3%となった。

